

第五十九回帝國議會
衆議院

電氣事業法改正法律案委員會會議錄(速)第三回

付託議案

電氣事業法改正法律案(政府提出)

會議

昭和六年三月十日(火曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 河西豐太郎君

理事 松尾 四郎君

理事 百瀬 渡君

理事 安田 正男君

理事 高見 之通君

理事 大野 伴睦君

藍川 清成君

道源 權治君

宮崎 高四君

森 嘉和君

向井 倭雄君

同日委員斯波貞吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ奥山龜藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

逓信大臣 小泉又次郎君

出席政府委員左ノ如シ

逓信政務次官 中村啓次郎君

逓信參與官 福田 五郎君

逓信省郵務局長 山本直太郎君

逓信省電氣局長 富安 謙次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

電氣事業法改正法律案(政府提出)

○河西委員長 是ヨリ開會致シマス

○森委員 昨日大臣ノ御答辯中ニ私ガ二點伺ヒマシタ、其中ニ供給區域ノ獨占ニ關スル御答辯ガゴザリマシタガ、

電氣事業者間ノ協議整ハザル場合ニ於ケル事項ヲ、本條文中ニ明記シナイコ

トニ付テノ、大臣ノ御答辯ガゴザイマセヌヤウニ思ヒマシタガ、私ハ昨日申

シマシタ通り、此認可制度ヲ斷行スル以上、供給區域ノ獨占ハソレニ伴ヒ、又

供給區域ノ獨占ヲセラル、以上、現在電氣事業者、即チ供給會社ト一般電燈

會社トノ間ニ多數ノ電力契約ガ締結サレテ居リマスルガ故ニ、此問題ヲ等閑

ニ付スルコトハ既得權ヲ侵害スル嫌アリ、又將來ニ於キマシテモ、此點ニ付キ

マシテハ、明白ニ此法文中ニ此場合ニ於テハ逓信大臣ガ裁定スルト云フ、裁

定事項中ニ、一般電氣電燈料金ト云フモノニ付テ、此供給會社ノ電力料金ノ

協議整ハザル場合ニ付テモ加ヘナケレバナラヌモノト斯ウ考ヘルノデアリマ

ス、ソレデ例ヘバ此第十七條ノ第二項アタリニ「電氣事業者相互間ニ於テ電

力供給契約ノ更改ニ際シ電氣料金其ノ他供給條件ニ關シ協議整ハズ、又供給

ヲ爲スコト能ハザルトキハ當時者ノ申

請ニ依リ主務大臣之ヲ裁定ス」ト斯ウ云フ條項ヲ明記スルコトガ當然デナイ

カ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、大臣ノ御意見ハドウデゴザイマスカ

○小泉國務大臣 只今森君カラ御尋ノ點ニ付キマシテハ、昨日來屢、申上ゲマ

シタ電氣事業調查會ニ於キマシテ、特ニ其點ニ付テ慎重ニ御研究ガアッタノ

デアリマス、只今ノ御尋ノ要旨ヲ此明文ニ認メマセヌデモ、御尋ノ意思ハ當

然サウ云フ場合ニハ主務大臣ガ權能ヲ以テソレニ發動致シマシテ、命令ヲ爲

スコトノ規定ニ相成ッテ居ルト思フノデアリマス、附加ヘテ申シマスガ、一般

供給料金ノ基礎ヲ爲スモノデアリマスガ故ニ、電氣ノ卸賣事業ノ供給料金ハ

只今申上ゲマシタル通り、十七條ニ於キマシテ、電氣事業者ト看做シマシテ、

等シク是ハ認可制度ヲ執ルノデアリマスカラ、御尋ノ通りニナルト思ッテ居リ

マス

○森委員 只今ノ大臣ノ御話ノ第十七條ノ「電氣事業者電氣料金」此意味ハ、

大臣ノ御説明ニ依リマスレバ、一般電氣業者モ、電氣卸賣業者モ總テヲ指シ

タモノデアッテ、即チ「電氣事業者電氣料金」ト云フモノハ、私ノ尋テ居リマス

卸賣業者間ノ場合ニ於テモ之ヲ適用スル、サウナッテ居ル、サウ云フ御答辯デ

ゴザイマスカ

○小泉國務大臣 其點ハ明瞭ニ御答致シマス、御尋ノ通りニナッテ居リマス

○森委員 本法案中及ビ大臣竝ニ政府委員ノ説明ニ依ッテ考ヘテ見マスルト、

此法案ヲ作ラレマシタ其御精神ガ、電氣事業ノ監督及ビ電氣事業ノ統一整

理、之ニ重キヲ置カレマシテ、將來國是トシテ必要ナル我國ノ國情カラ、又我

國ノ風土カラ考ヘマシテ、電氣事業ニ依ラズンバ我國ノ國力ノ充實伸張ハ出

來得ナイト私共ハ信ジテ居ルノデアリマスガ、此電氣事業ノ發達助長ニ關シ

テ、本法案ハ何等ノ考慮ヲサレテ居ラヌヤウニ思ヒマスルガ、此點ハドウ云

フ風ニ考ヘラレマシタカ、私思ヒマスルニ、從來ノ電氣事業ハ電燈及ビ動力

ニ重キヲ置カレマシテ、又ソレニ依ッテ出發シ、今日ノ盛況ヲ見タノデアリマ

スガ、將來ハ電氣ハ電燈ヤ、動力デナクシテ、ソレ自體ガ原料トシテ、我ガ國土

ノ狹小、天然資源ニ乏シキ此點ヲ唯獨リ此惠マレタル電氣事業ノミニ依ッテ

補フ、即チ其補フコトハ天然資源ニ對シテ此惠マレタル電氣事業ガ、原料ト

シテ此惠マレタル電氣事業ガ、原料ト

シテ此惠マレタル電氣事業ガ、原料ト

シテ此惠マレタル電氣事業ガ、原料ト

シテ此惠マレタル電氣事業ガ、原料ト

シテ此惠マレタル電氣事業ガ、原料ト

シテ此惠マレタル電氣事業ガ、原料ト

シテ此惠マレタル電氣事業ガ、原料ト

シテ此惠マレタル電氣事業ガ、原料ト

シテ、日本ノ産業ニ資スル所ガナケレバナラスト思フノデアリマス、原料トシテ産業界ニ資スル上ニ於キマシテハ、是ハ此電氣事業法案ガ私共考ヘマスト電氣事業ハ既ニ十分ノ發達ヲ遂ゲタモノデアルカラ今日ハ是ガ取締監督ヲ嚴重ニスルノダト云フヤウナコトニ偏シテ居リハセヌカ、例ヘバ電氣事業ノ經營者ヲドウ云フ點ヲ指シテ居ルカハ存ジマセヌガ、御前ハ電氣事業者トシテハイカヌ、電氣事業會社ノ取締役トシテハイケナイト云フテ政府ガ之ヲ解任スル、而モソレニ付テ事業會社ニ於テハ政府ガ解任シテモソレハ政府ノ考ガ間違ッテ居ルト云フノデ、總會ニ於テハ吾々ノ取締役ノセル行爲ガ相當ト思フカラ之ヲ再任スル、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ此法案ノ執行權ガナイノダト斯ウ仰セラレルナラバ、此法案ハ甚ダ權威ガナイガ、又唯表面カラ見マスナラバ甚ダ横暴ナルコトニ流レヤシナイカ、斯ウ云フ點カラ見マスルト、ドウモ今後益、電氣事業ヲ助長發展セシメナケレバナラヌ我國ノ國情ニアルニ拘ラズ、此點ガ監督取締ノ重キニ流レテ、助長發達ニ對スル考慮ガ乏シクハナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋シテ置キタイ

○小泉國務大臣 本案ヲ立案致シマシタル精神ハ是亦昨日來屢、申上ゲマシ

タル通り、我國ノ電氣事業ハ森君ノ御承知ノ通り急激ニ發達ヲ致シマシテ、其急激ニ發達致シタニモ拘リマセズ法規上ノ不備ノ點、其他取締上ノ手續上ニ非常ナル不備ノ點ガアッタ思ッテ居リマス、左様ナ次第デアリマシテ、今日ハ殆ド事業者間ニ於ケル複雑ナル困難ナ事情ガ出來テ居ルト云フコトモ、是モ爭フベカラザル事實デアルト思ッテ居リマス、此時ニ當リマシテ是カラ帝國ノ發展ニ伴ヒ、文化ノ進展ト共ニ電氣事業ハ益、擴張普及ヲシナケレバナラヌ、此重大ナ時期ニ當リマシテ、現在ノ此複雑致シマシタル不統一ノ儘ニ致シテ置キマシテハ、其普及發達ヲ遂ゲルコトガ洵ニ困難デアル、斯様ニ考ヘマシタノデ、取敢ヘズ現在ノ此複雑セル電氣事業界ヲ、出來ルダケ事業ノ統制合理化ヲ致シマシテ、サウシテ能率ヲ増進シテ、サウシテ電氣事業本來ノ機能ヲ發揮センガ爲ニ、此法案ヲ作ッタノデアリマス、ソレト同時ニ統制ヲ致シマスル又合理化ヲ致シマスルニハ、相當ニ監督官廳ハ之ニ向ッテ行政ノ最モ偉大ナ權利ヲ發動セシムル條文モ之ニ伴ッテ又必要デアルト考ヘマシタノデ、此法案ヲ出シタノデアリマスルカラ、之ヲ一言ニ約メマスルナラバ、事業ノ統制合理化ヲ致シマスル上ニ於テ必要ナル行政ノ監督權ガ加ッテ來タ、今

森サシノ御話デハ事業ノ監督ヲスル爲ニ色々ナ法律ガ設ケラレタト仰セラレマシタガ、サウデアリマセヌ、事業ノ統制合理化ヲ目的トスル爲ニ、ソレニ伴フ所ノ行政監督權ヲ加ヘナケレバ其目的ハ達シ得ラレヌ、斯様ナ次第此案ノ精神ハ成立ッテ居ルノデアリマスルカラ、其點ハ左様御承知ヲ願ヒタイノデス、又今日マデ電燈動力ニ重キヲ置イテアッタガ將來ハドウスルカト仰セラレマシタガ、御尤ノ御尋デアリマス、私モ電燈ニ付テハ何等ノ知識ガナイノデアリマスガ、何人ガ見マシテモ此電氣電力ト云フモノガ有スル國家ノ産業ノ基礎デアルト云フコトハ、是ハモウ爭フベカラザルコト、思ヒマスノデ、將來ニ於キマシテ國家ノ産業ノ基礎タルベキ此電氣事業ヲ、單リ電燈トカ動力トカデナク、其他各般ノ産業ニ之ヲ利用致シマシテ、サウシテ廣ク之ヲ普及セシメルト云フコトハ當然デアルノデアリマスカラ、政府ニ於キマシテモ、此統制案ガ幸ニシテ御協賛ヲ得マシテ實行致シマスルト同時ニ、只今御尋ノ趣意ニハ最モ重キヲ置キマシテ、飽マデ國家ノ産業ノ基礎タルベキ本能力ヲ發揮セシメルヤウニ、十分ニ當局ニ於キマシテハ注意ヲ致シテ進ミタイト、斯様ナ誠意ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○森委員 只今ノ大臣ノ説明ニ依リマシテ私共今一步政府當局者ニ此電氣事業ニ關シテ深キ考慮ヲ御願シタイト思ヒマス、ソレハ成程吾々ハ十分考ヘテ居ルト云フコトデアリマスガ、今後ノ電氣事業ハ只今大臣ノ御説明ニナリマシタ電燈動力バカリデナク、其他産業ノ基礎ニナル、斯ウ申サレテ居リマスガ、私ノ申シテ居リマスノハ、モウ一步其域ヲ超越致シマシテ、我國ハ天然資源ニ乏シイ國デアアル、唯獨リ此電氣ガ、氣候風土ニ恵マレテ居ル我國ガ、世界ノ二優越シテ居ル此點カラ考ヘテ、我國ノ産業上世界ト覇ヲ爭フモノハ、此電氣ヲ基礎トシテ工業ニ資スルニアラザレバ出來ナイ、此點カラ行キマシテ、例ヘバ此電氣ヲ原料トスル工業、現在ニ於テノ工業ヲ申シマスレバ「カーバイト」、ソレカラ石灰窒素、硫酸安母尼亞、ソレカラ曹達工業、醋酸工業、硝酸工業、鹽酸或ハ進ンデハ人絹其他非常ニ廣汎ナ原料トシテノ用途ガ多イ、ソレデ詰リ原料トシテノ斯ノ如キ工業ガ我國ニ於テハ世界ニ覇ヲ爭ヒ、又世界的經濟戰爭ニ打勝ツ所ノ唯一ノ工業デアアル、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマス、デアリマスカラ此點カラ見タナラバ、此法案ガ其處ニ大ナル考慮ヲ拂ッテ居ラスト云フコトハ事實デアリマスケレドモ、其點ハ後ノ問題ト致シマ

上ゲテ置キマス

シテ此機會ニ於テ私ハ政府當局者ニ御願ヲ申シタイノハ、將來斯ノ如キ工業ニ對スル政府ノ施設ガ多クアラウト

思ヒマス、其場合ニ於テ特ニ斯ノ如キ仕事ハ遞信當局トシテ十分ニ御考慮ヲ願ヒタイ、例ヘバ今日問題トナッテ居ル窒素工業ノ如キ、硫安ノ問題ノ如キ、此席デ質問申上ゲルノモ私ハ當業者ナルガ故ニ遠慮シマスガ、サウ云フヤウナ

幾多ノ問題ガ、今後電氣ヲ原料トスル工業ノ發達ニ伴フテ續々起ラウト思フノデアリマス、是ハ獨リ商工省ヤ農業省ノ問題トノミ致シテ、遞信當局ガ埒外ニ立ツコトハ、甚ダ電氣事業ノ爲ニ

殘念ナ事デアリマスガ故ニ、此點ヲ十二分ニ考慮セラレマシテ、將來電氣ヲ原料トスル工業ノ、國策上ノ問題トシテ論議セラレル場合ニ於テハ、格別ノ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、是デ私ノ質問ハ打切りマス

○清瀬委員 一寸御尋致シマスガ、發電水力ノ使用料徴收ノ規定ハ區々ニシテ居ルヤウデアリマスガ、例ヘバ課税標準ノ如キニ致シマシテモ、理論馬力ノ中デモ、最大ダトカ、常時ダトカ、實際ダトカ、各種ニシテ居リマスルシ、又徴收ノ單價モ大變達ッテ居ル、徴收免除ノ標準モ違ッタ所ガアル、區々ニシテ居ルト思ヒマス、之ヲ全國的ニ統一劃一スルト云フヤウナ御考ハナイノデ

アリマスカ、ソレヲ一寸伺ッテ置キマカ云フコトガ必要デハナイカ、此點ニ付テ御考ヲ持ッテ居レバ一應伺ヒマ

○小泉國務大臣 清瀬君ノ御尋ハ當局ニ於キマシテモ目下内務省ト協定致シテ居リマシテ、成ベク統一ヲ圖リタイト、斯様ナ考ヲ以テ、專ラ交渉中デアアルノデアリマスカラ、其點ヲ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○清瀬委員 先ヅ此賦課標準ノ理論馬力、最大ノ理論馬力ニ課ケルト云フコトハドウモ不合理デアッテ、實際ハ實際出力、或ハ常時ノ出力ヲ標準トシテ課ケルノガ本當デハナイカト思フノデアリマス、然ルニ此頃ハ大多數ノ府縣ニ於テ、最大ノ理論馬力ニ課ケテ居ルト云フ實況ニアル、之ニ對シマシテ内務省トシテハ、或ハ私立會社等ニ澤山ノ

稅ヲ課スル方ガ、地方財政上都合ガ好イト云フヤウナ考デ課ケルカモ知レナイ、併シ遞信當局ト致シマシテハ、電氣事業ノ發達、殊ニ之ヲ増セバドウシテモ需用ニ轉嫁サレルト云フコトハ當然デアリマスカラ、結局安イ電力ヲ供給スルト云フ御趣意ニ反スルガ、最大理論馬力デ御課ケニナルト云フコトガ大抵ノ府縣ノ實情デアル、ソレデ課稅ノ根本ノ統一劃一ト云フコトハ別ト致シマシテモ、差當リ最大理論馬力ニ課ケルト云フコトハ宜シクナイ、之ヲ御取

縮リニナリ、或ハ之ヲ少シ緩和スルトカ云フコトガ必要デハナイカ、此點ニ付テ御考ヲ持ッテ居レバ一應伺ヒマ

カ云フコトガ必要デハナイカ、此點ニ付テ御考ヲ持ッテ居レバ一應伺ヒマ

○小泉國務大臣 課稅ノ問題ニ付キマシテハ私ノ調ベガマダ濟ンデ居リマセヌノデ、甚ダ恐縮デアリマスガ、政府委員カラ御答致サセマス

○富安政府委員 水利使用料ガ電氣事業ニ深イ關係ヲ持ッテ居リ、之ヲ高ク取レバ需用者ニ直チニ轉嫁サレルト云フコトハ洵ニ御同感デアリマス、此點ニ關シマシテモ從來ノ經緯ト申シマスルカ、關係ヲ簡單ニ申シマスレバ、御話ノアリマシタヤウニ此水利使用料ヲ課シマスル標準ニ關シマシテ、非常ニ具合

好ク參ッテ居ルノデハナイノデアリマス、内務省ト遞信省ト話ヲ致シマシタ結果、地方ニ對シテ其標準ヲ示シタノデアリマスガ、其處ニ若干ノ行違ガアリマシタ爲ニ、通牒ノ解釋ガ必ズシモ一樣ニノミ取レナイヤウニナッテ居ルノデアリマス、其爲ニ御言葉ニアリマシタヤウニ、理論馬力ノ最大ニ課ケルカ、若クハ常時ニ課ケルカト云フコトニ付キマシテ、内務省ノ考ト私共ノ考ト完全ニ一致シテ居ナイノデアリマシテ、事業ニ於テ只今御指摘ニナリマシタヤウニ、最大ヲ標準ト致シテ居ル縣ガ多數トモ申シマセヌケレドモ、相當

ニアルノデアリマス、之ニ對シテハ遞

信省ト致シマシテハ、御意見ガアリマシタヤウニ、最大ヲ標準トスルト云フコトハ、適當デナイト私ハ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ之ヲ常時ノ理論馬力ニ標準ヲ置クコトニ致シタイト云フ考ヲ以チマシテ、内務省ト稍、久シキ前カラ交渉ヲ致シテ居ル關係ニナッテ居リマス、此標準ヲ最大ニ置クカ常時ニ置クカト云フヤウナコトヲ決シマスルコトハ、同時ニ又此水利使用料ニ關シマスル標準則ノ他ノ點ニモ直チニ關係シテ參ルノデアリマスノデ、是モ併セテ考ヘナケレバナラヌ、是モ最高一圓ニ置クカ、一圓二十錢ニ置クカ、八十錢ニ置クカト云フコトガ直グ問題ニナルノデアリマス、又他ノ方面ニ於キマシテハ只今通牒致シテ居リマスル所ニ依リマス、左ノ水利使用者ヨリハ水利使用料ヲ徴收セザルコト、ナッテ居ルノデアリマシテ、ソレハ利益配當率ガ五分以下ノモノハ水利使用料ヲ徴收シナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、

是ハ今日ノ電氣事業界ト申シマスルヨリモ、寧ロ一般ノ事業界ノ配當率ナドノ關係カラ見マシテ、斯様ナ通牒ヲ發シタコトガ果シテ……是ハ大正十三年ト存ジマスルケレドモ、十三年ト狀況ガ同ジデアルカナイカト云フコトニ付テハ相當議論ガアリマスルシ、是等ノ點モ併セテ考ヘマセヌケレバ、ソレガ

第五類第二十五號 電氣事業法中改正法律案(政府提出)委員會議錄 第三回 昭和六年三月十日

電氣事業ノ經營カラ考ヘテ見テ適當デアルカナイカト云フ根本ノ問題ニ達セラレナイ、總テ斯ウ云フ條件ヲ併セテ考フベキモノデアリマシテ、甚ダ關係ガ複雑ニナツテ參ルノデアリマス、隨ヒマシテ御意見ノアリマシタヤウニ差向キ最大ヲ當時ト云フコトニハ私共御同感デアリマスルガ、其方ガ其點ニ關スル標準トシテハ正シクナイカト云フノデ、其點ノミヲ切離シテ解決スルト云フコトハ、困難デハナイカト考ヘマサルケレドモ、漸次使用料ノ課稅標準全般ト云フコトニ付キマシテ、内務省ト今日ノ實情ニ最モ適シタヤウナモノヲ作リタイト云フ考ヲ以チマシテ交渉ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス

○清瀨委員 此事ニ付キマシテハ、内務省ニモ私ハ適當ノ機會ニ御伺シタイト思ヒマスカラ、此點ヲ保留致シテ置キマス

ソレカラ其次ニ御尋致シマスガ、送電線バカリデハナク、一體電信電話線ニ關シマセウガ、電線ノ兩垂レデゴザイマス、電線ガアル爲ニ其下ニ滴ガ垂レル、隨テ其下ニアル農作物ニ色々ナ被害ガアルト云フヤウナコトガ各地ニ於テ多少問題ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ今ドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、大分遞信省ニハヤカマシイ事ヲ申込ンデ來テ居ルヤウニ伺ツテ居リマ

スガ、或ハ是ハ當然デハナイカト思ッテ居リマス、何カ問題ニナツテ居ルヤウナ事ハアリマセヌカ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、具體的ニ只今仰シヤイマシタヤウナ事ニ付キマシテ、問題ト云フ程度ニマデナツテ居ルノヲ私ハマダ耳ニ致シテ居リマセヌケレドモ、或ハ左様ナ事ガ何處ヤラデ問題ニナツテ居ナイト迄ハ申上ゲラレマセヌシ、後程ニデモ之ヲ聽イテ御答サセテ戴キタイト思ヒマス

○清瀨委員 電燈料金ヲ不拂同盟ヲシテ、或ハ同盟トマデ行カナイデモ不拂ヲシテ居ル、或ハ同盟ミタイナモノヲ作ツテ居ルト云フヤウナ處ガ段々アルヤウデアリマス、殊ニ山陰道方面ニ可ナリ多イト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、其狀態ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、極ク概略デモ宜シウゴザイマスカラ、御伺スルコトガ出來レバ、御伺シタイ——今デナクテモ宜シウゴザイマス、後デ御調ヲ願ツテ御答下サツテモ宜シウゴザイマス

○富安政府委員 御答申上ゲマス、不拂ノ同盟ト普通申シテ居リマス、サウ云フヤウナ現レガ料金爭議ノ上デ或ル地方ハ相當ニアルヤウデゴザイマス、ソレヲ表ニシテ只今持ツテ居リマセヌノデ、正確ニハ申上ゲラレマセヌケレドモ、地方ニ依リマシテ、サウ云フヤウ

ナコトヲ致シテ居ルモノガ確ニアリマス、後程ニデモ出來マス限リノモノヲ具體的ニ表ニデモ致シマシテ、申上ゲサセテ戴キタイト思ヒマス

○清瀨委員 當局者ハ公共團體ニ於テ電氣事業ヲ營ムト云フコトヲ、大體ノ御方針トシテ御獎勵ニナル御積リデアリマスカ、或ハ成ベク之ヲ抑制スルト云フヤウナ御方針デアリマスカ、是ハ電氣統制ノ上ニ餘程影響ガ大キイト思ヒマス、一ツドウ云フ御考デアルカ、其根本ノ御考ヲ御伺シタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 此條文ニハ公共團體必要アリト云フ場合ニ主務大臣ノ認可ヲ受ケレバ買収ガ出來ルト云フコトノ條項ハアルノデアリマスガ、之ヲ政府ハ公共團體ニ事業ヲ自營デ爲サシムルノ目的デ法文ニ載セタ次第デハナイノデアリマシテ、若シモ公共團體デ必要アリト云フ申出ガアリマスカラバ、既設ノ會社ニ影響ヲ及ボシマセヌ限リ、又其事業ガ果シテ採算ガ取レルカ、自治體ノ爲ニナルカ、總テノ事ヲ能ク考慮致シマシテ、殊ニ慎重ノ研究ノ上デ、ソレヲ許可致シタイト云フ方針ヲ持ッテ居リマスガ故ニ政府ト致シマシテハ、公共團體ニ之ヲ懲儉シ、サウシテ電氣事業ヲヤラセルト云フ考ヲ持ツテ居リマセヌノデス

○清瀨委員 私ノ申シマスノハ此法文ニ關係ナク、此法文ヲ暫ク別トシテ一體御方針ハ公共團體デ電氣事業ヲ營ムコトヲ御獎勵ナサルカドウカ、ソレガ電氣統制ノ上カラ見テモ、又公共團體ノ爲ニモ、國民多數ノ爲ニモ其方宜イト云フ御考デアルカ、或ハ餘リ面白クナイカラ成ベク之ヲ抑制スル、公共團體ニ電氣事業ヲ營マセルト云フコトハ、當局ノ大體ノ方針トシテ成ベク抑制ナサル御積リデアルカ、但シハ御獎勵ナサル御積リデアルカ、此根本ノ御方針、此法文ニ對シテドウ斯ウト云フ譯デナク、大體ノ御方針ハ何處ニ在ルカト云フ事ヲ御伺シタイノデアリマス

○小泉國務大臣 簡單ニ御答致シマス、政府ト致シマシテハ公共團體ニ電氣事業ヲ獎勵スルノ意思ハ只今持ツテ居リマセヌノデアリマス、但シ必要アリト云フ場合ハ前ニ申上ゲマシタ通りニ能ク慎重ニ調査致シテ取計フコトニ致シマス

○清瀨委員 サウデスト私ノ御尋シタイノハ、本年ノ二月十九日ニ遞信省ハ北海道ノ札幌市營電氣事業、即チ豐平川ノ水利權ノ使用ト云フモノヲ御許ニナツテ居ル、此御許ニナタト云フ事ニ付テ私共實ハ一寸新聞ナド見テ不思議ニ思ツテ段々聞イテ見ルト云フト、ドウモ今ノ御話ト少シ違ッタコトニ相成

○清瀨委員 此ノ申シマスノハ此法文

○清瀨委員 此ノ申シマスノハ此法文

リマスマイカ、只今遞信大臣ハ餘リ獎
メヌヤウナ御話デアッタケレドモ、大體
此豐平川ノ水利權ヲ札幌市ニ御許ニナ
ッタト云フコトハ、少シ無理デハナイ
カ、現ニ是ハ事實デアルカドウカ知リ
マセヌケレドモ、新聞ニ書イテアル所
ニ依ルト、遞信省ノ電氣局ノ萩原監理
課長ト云フ人ノ話デモ、當初カラ電氣
局トシテハ事務的ニ見テ本省ノ建前デ
アル電氣統制カラ絕對反對デアアル、又
自治團體トシテ利益ヲ見越シテノ計算
ヲシイノニ、電力洪水ノ今日云々ト云
フコトヲ言ッテ、絕對是ハ反對デアアル、
間違ッテ居ルト云フヤウナコトヲ言ッテ
居ラレル、而シテ是ハ政治的ノ解決ト
シテ許サレテ居ル、僅カ三千八百「キ
ロ」ノ水力デハアリマスケレドモ、併シ
札幌ノ市デ電車ニ使ヒマスノハ八百
「キロ」ソコ、而シテ其札幌ノ電車
ニ使フ電力ハ全國無比ノ一錢五厘カ二
錢ノ電力ヲ用ヒテ居ル、ソレニ多少ノ
塵芥ヲ燒却スル、或ハ碎石ニ使フト云
フ爲ニ三千八百「キロ」ノ電力ヲ要ス
ル、而シテ其剩餘ハドウスルカト云フ
ト、外ニ賣ルコトハ出來ナイト云フヤ
ウナ條件ノ下ニ水力ヲ御許可ニナッダ、
詰リ發電ヲシテモ宜イケレドモ、使途
ハ少シモ決マラナイ、斯ウ云フ事ハ唯
單ニ豐平川ノ發電バカリデハナイト思
フ、又只今ノ當局者ヲ責メル譯デハナ
イケレドモ、遞信省ノヤリ方ハソレデ
アッタ、ソレガ電力界ニ今日ノ混亂ガ
起ッタ因デアルト思フ、例ヘバ或ル會
社ニ對シテハ發電所ハ許ス、送電線
ハ許サナイ、今度ハ發電所モ送電所
モ許シタガ、民間デアル火力ノ發電ヲ
許サヌト云フコトヲシタリ、チグハグ
ニ行クト云フヤウナコトノ爲ニ、遂ニ
ハ其會社モ困レバ電力界全體ヲ攪亂ス
ルト云フヤウナ例ガ澤山アル、此豐平
川ノ水利權ノ如キ又サウデハナイカ、
事ハ甚ダ小サイケレドモ、併シ電力統
制ト云フコトヲ非常ニ喧シク言ハレ、
電力ノ合理化ヲ叫バレテ居ル、此際ニ
斯ノ如キ水利權ヲ御許可ニナッダト云フ
御趣意ハ一體何處ニアルカ、之ヲ私ハ
甚ダ怪シムノデアリマス、附帶條件ナ
ドモアルトカナイトカ云フコトデアリ
マスガ、市營電車、上水道、塵芥燒却場、
火葬場、碎石場、小樽市營電車、是ダケ
ニハ使フコトガ出來ルケレドモ、外ニ
賣ルコトハ出來ナイト云フ條件デア
ルカドウカ、アノ地方トシテ三千八百
「キロ」ノ電力ノ使途ハナイ、使途ガナ
クテ發電所ヲ許スト云フコトハ、統制
ノ上カラ云ッテ矛盾デハナイカ、私ノ承
ル所ニ依レバ北海道ハ大體電力ノ統制
ガ出來テ居ル、ニツカ三ツノ會社ガア
ッテ協定シテ、稍、統制ガ出來テ居ル
ニ、政府ガ態々之ヲ攪亂スルヤウナ途
ヲ開ク、甚ダ間違ッタヤリ方デハナイカ
ト思フ、事ハ小サイケレドモ、電力統制
ノ趣意カラ云ッテ私ハ間違ッテ居ルト思
フガ、當局ハドウ云フ御考デアアルカ
○小泉國務大臣 本年二月北海道札幌
市營ニ許可ヲ致シマシタノハ、申上ゲ
ルマデモナク公共團體ノ自家用ト致シ
マシテ、許可致シタノデアリマスガ、其
自治體ニ許可スルコトハ、現ニ統制ス
ル統制スルト言ウテ置キナガラ、此統
制ノ精神ニ反スルデハナイカト云フ御
意見デアリマシタガ、統制ノ大體ノ精
神カラ論ジマスレバ、只今清瀨君ノ御
說ノ通りト私モ首肯スルノデアリマス
ガ、札幌市ニ於キマスル自家用ノ内容
ニ付キマシテハ篤ト調査ヲ致シマシ
テ、只今其處ニ御舉ゲニナリマシタル
上水道、火葬用、碎石、塵芥等ノ市ノ事
業ニ之ヲ利用スル、斯ウ云フ建前デア
ルノデアリマシテ、數字ハ記憶致シマ
セヌガ、多少ノ過剩ガアルノデアリマ
ス、是ハ申上ゲルマデモナク、此水力電
氣ナルモノガ何時モ多少ノ過剩ノアル
コトハ、是ハ當然デアリマスガ、比較的
過剩ノアリマス部分ハ、之ヲ小樽ノ今
ヤ正ニ必ズ是ハ確定的ニ出來上リマス
ル所ノ軌道ニ使フト云フヤウナ算盤ヲ
採リマシテ、其程度ナラバ既設ノ會社
ニモ餘リ多クノ影響ヲ及ボサナイ、而
シテ將來ハ極メテ嚴カナ條件ヲ附ケマ
シテ、自家用以外ニハ他ニハ供給スル
コトノ出來ナイヤウナ條件ヲ附ケテ居
ルノデアリマス、サウ云フヤウナ條件
ヲ附ケマスナラバ札幌市ニ許スコトガ
適當デアアル、此意味ハ自治體ニ此事業
ヲ獎勵スルト云フ意味ニナリマセヌノ
デ、先程申上ゲマシタ通り、公共團體ガ
必要デアルト云フ場合ハ能ク調査ヲシ
テ許スト云フコトヲ、現在御協賛ヲ經
タイ爲ニ提出シテアリマス法文ノ中ニ
モアリマス、ヤハリ此精神ト少シモ變
ラナイ趣意デ當局ハ處置ヲ執ッタ次第
デアリマス
○清瀨委員 私ノ質問ニハグレタ御答
辯ダト思ヒマス、私ハ三千八百「キロ」
ノ發電ヲ御許可ニナッダ、而シテ之ヲ自家
用ニ限ッダ、或ハ小樽ノ電車ニハ使ッテ
モ宜イカモ知レナイガ、其他ニ使フト
トガ出來ヌト云フ條件デ御許可ニナッ
コトガ、抑、非常ノ間違デハナイカ、ナ
ゼカト云フト三千八百「キロ」ノ電力ト
云フモノハソレダケノ事業ニハ要ラナ
イ、或ハ十年カ十五年ノ後ニハ要ルカ
モ知レナイケレドモ、マダ五年ヤ七年
ハ要ラナイ、其要ラナイ三千八百「キ
ロ」ノ設備ヲサセテ置イテ、其中ノ千
五百「キロ」カ二千「キロ」ヲ使ッテ、アト
ノ餘ラシテ置クト云フコトハ不合理デ
ハナイカ、斯ウ云フ計畫ヲドウシテ御

許ニナツタカ、ソレガ電力ノ統制ヲ案
リ、又札幌ニ取ツテ甚ダ不利益ナ事デ
ハナイカ、此不利益ヲ見ス、御許シ
ニナルト云フコトハ、唯札幌市ノ行懸
リカ何カデ許シタノデアツテ、當局者ト
シテハ冷靜ニモウ少シ市ノ經濟、市民
ノ經濟ト云フコトモ御考ヘニナツテ御
許ニナラナケレバナラヌト思フ、又統
制上カラ言ツテモサウ云フモノヲ御許
ニナルノハ間違ッテ居ルデハナイカ、ソ
レヲ私ハ承ツテ居ルデアリマス

○小泉國務大臣 此今ノ三千八百「キ
ロ」ニ對シマシテ使用スル所ノ數字ヲ
實ハ今手許ニ持ツテ居リマセヌ、政府委
員ノ方ヲ調べマシテモ只今一寸持ツテ
居ラヌサウデアリマスガ、大體ニ於テ
ノ御答辯ハ出來得ルト思ヒマス、只今
清瀬君ノ仰セラレタ通り、餘剩力ハ確
ニアルニハ相違ナイノデアリマスガ、
餘剩力アリト致シマシテモ、自家用ト
致シマシテ公共團體デ自給自足ヲスル
ト云フ主義方針カラ參リマスト云フ
ト、採算ノ取レナイ程餘ッテ居ルトハ
考ヘナイノデアリマス、今餘ッテ居リ
マスモノモヤハリ市ノ發展ニ伴ヒ、其
他ノ進展ニ從ヒマシテ、二年三年後ニ
ハ現在餘ッテ居リマス餘剩ハ、必ズヤハ
リ或ハ不足スルヤウナコトガ起リハセ
ヌカト思ハレル位ニ、總テノ社會ノ發
展ヲ見込デ居ルノデアリマスカラ、

現在ハ多少ノ餘剩ガアリマシテモ、サ
レバ多少ノ心配ニハナラヌ、斯様ナ考デ
札幌ニ許可ヲ致シタ次第アルノデア
リマス

○清瀬委員 今書類ヲ持ツテ御居デニ
ナラナケレバ、次ノ機會ニ書類ヲ持ツ
テオイデニナツテ、モウ少シ私ハ此問題
ニ付テ御聽ヲシタイト思フ、私ノ承知致
シテ居リマス所ニ依リマスト、此電力
ハ自家用ニ限ッタナラバ、決シテ三千八
百「キロ」ナント云フ電力ハ要ラナイ、
十五年モ三十年モ先ハ知ラヌケレド
モ、五年、七年デ三千八百「キロ」ト云
フ電力ハ札幌市ハ使ハヌノデス、其使ハ
ナイ電力ヲ三千八百「キロ」モ許シテ、
而シテ電力ノ使途ガナイトスレバ、市
ニ取ツテハ不經濟デアル、斯ノ如キコト
ヲ市ノ當局ガ願出ルト云フコトモ間違
ッテ居ル、又斯ノ如キ間違ッテ居ル
デハナイカ、ドウ云フ考デ斯ウ云フモ
ノヲ許サレルノデアアルカ、市ノ爲ニモ
ナラナイ、而シテ電力統制ヲ非常ニ案
リ、折角電力統制ノ形ヲ成シテ居ル北
海道ノ電力統制ヲ案ルヤウナ端ヲ開ク
ト云フコトハ、遞信當局トシテハ非常
ニ間違デハナイカ、事ハ小サイケレド
モ、統制々々ト頻リニ仰シヤル、其御趣
意ヲ案ルカラ、私ハ之ヲ例ニ舉ゲテ御
尋ヲスルノデアリマス、書類ガ今ナケ

ソレカラ大體ニ於テ昨日戴キマシタ
書類ニ依リマスルト、公共團體ノ營業
成績ハ、町營ノ營業成績ハ比較的良イ
ト云フコトニナツテ居リマス、而シテ町
村組合、市營、縣營、村營ト云フ順序ニ
段々惡クナツテ居ル、ソレハ色々ノ事情
モアリマセウガ、大體ドウ云フ譯デス
ウ云フ傾向ニナツテ居ルト御覽ニナル
カ、一ツ當局者ノ御覽ニナル所ヲ御伺
致シタイ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、一
概ニ申上ゲ難イ事ト存ジマスケレド
モ、此表ニ現レマシタ所ヲ見マス、成
程御話ノヤウニ町營デアアルモノガ他ノ
縣營、市營、村營ナゾニ比較ヲ致シマシ
テ、非常ニ固定資産ニ對スル利益ノ割
合ガ高ク出テ居ルヤウデアリマス、是
ハ主トシテ斯ウ云フ事ニ依ルノデナイ
カト推測致シテ居リマス、此町營デヤ
テ居ルノハ事業者數ガ二十一バカリア
ルノデアリマスガ、事實ニ於テ是等ノ
町營ハ比較的舊イ時代ニ仕事ヲ始メタ
ルモノガ多イノデアリマス、舊イ時代
ト申シマスノハマダ物價ナゾモ安ク、
ソレカラ非常ニ有利ナ地點ヲ割合ニ安
ク買フコトガ出來タヤウナ時代ニ事業

ヲ始メタモノデアルト云フヤウナコト
ガ斯様ナ數字ヲ示ス、斯ウ云フコトガ
原因ニナツテ居リハセヌカト思ヒマス、
又町營ハ割合ニ密度ガ高イヤウナ區域
ヲ、自分ノ事業區域トシテ經營シテ居
ル關係ガアルト思ヒマス、ソレデ町營
ノ方ガ有利ナ條件トナツテ行クノデナ
イカト思ヒマス、サウ云フヤウナ譯デ
町營ダケガ他ノモノヨリ良イヤウニ數
字ニ表レテ居ルト思ヒマスガ、村營ノ
モノナゾニ至リマス、數モ御覽ノ通
リ非常ニ多クナツテ居リマス、隨分區
區バラ／＼デアリマシテ、一概何故斯
ウ云フヤウニ營業ガ振ハナイカト云フ
コトヲ判定致シマスルコトハ、私共モ
ハッキリト申上ゲルコトハ出來ナイノ
デアリマス

○清瀬委員 ソコデ私ハ一ツ此電氣事
業法改正法律案ニ付テ段々御尋シテ見
タイ、先ヅ便宜上逐條的ニ一ツ私ノ質
問ヲ進メタイト思ヒマス、第一條ノ第
一項ニ「一般ノ需用ニ應ジ電氣ヲ供給
スル事業」トアリマス、是ガ私惟フニ
「電氣事業」ト稱スルハ左ニ掲グルモノ
ヲ謂フ「トアリマスガ、「一般ノ需用」ト
云フコトデ總テヲ「カバ」シテ居ル
ノデナイカ、「一般ノ需用」ト云フコト
ヲ當局者ハドウ云フヤウニ御解釋ナ
スツタカ、今迄ノ慣例ト云フカ、今迄ノ觀念
デ、唯アリ來リノ觀念デ「一般ノ需用」

ト云フコトハ小賣業者——電燈デモ供給スルモノヲ「一般ノ需用」ト云フヤウニ御覽ニナツテ居ルノデ、其他ノモノヲ別ノ見方ヲナスツテ居ルカ知レマセヌガ、普通ノ觀念カラ云ヘバ、「一般ノ需用」ト云フノハ大モ、小モ、卸賣モ、小賣モ、總テノ電氣ノ需用者ヲ一般ノ需用者ト見ルベキモノデナイカト思ヒマス、之ヲドウ云フ譯デ一般ノ需用ト卸賣若クハ鐵道ニ供給スル電力業者ヲ別ニ取扱ハレルカ、別ニ之ヲ解釋ナサルノハドウ云フ理由ニ基キマス、ソレヲモウ一ツ御伺致シタイト思ヒマス

○富安政府委員 御答ヲ申上ゲマス、此處ニ「一般ノ需用ニ應ジ」ト書キマシタノハ、現行法ノ其儘ノ字ヲ持チ來ッタノデアリマス、「一般ノ需用」ト云フコトニ付キマシテハ現行法ノ解釋ノ中ニ於キマシテ、或ル自ラ定ッテ觀念トカ、解釋ト云フモノガ生ジ得ルト存ジマシテ、改正案ニ於キマシテモ其儘ヲ借用致シテ居ル次第デゴザイマスカラ、其意味ト云フコトニナルト不特定、多數ノモノ、斯ウ云フヤウナ風ニ私モ觀念致シテ居リマス、隨ヒマシテ小口ノモノニ限ルト云フコトハナク、大口ノモノデアリマシテモ、ヤハリ需用者ガ特定シナイ、又特定シナイ多數ノモノデアルト云フコトナラバ、此「一般ノ需用」ト云フ言葉ノ中ニ含マレテ居ルト云フ、左様ナ積リデ此文字ヲ踏襲ヲ致シテ居ルノデアリマス

○清瀬委員 ソレハドウモ分ラヌデスガ、此「一般ノ需用」ト云フダケデアルナラ、今迄ノ現行法ガドウダ斯ウダト云フコトハ、私ハソレカラ先ヅ御尋シテモ宜イデスガ、「一般ノ需用」ト云フコトハ小口デアルトカ、大口デアルトカ、或ハ特定デアルトカ普通デアルトカ云フモノハ、總テ一般ノ需用デヤアリマセヌカ、ドウシテ是ガ特定ノモノト違ヒ、或ハ大口ノモノト違フト云フコトガ此文字ノ上ニ現レマス、ソレハアナタ方ノ古イ永イ觀念ハサウ云フ風ニ何時ノ間ニカナツテ居ルカモ知レマセヌ、併ナガラ文字ノ上カラ見レバ「一般ノ需用」ト云フモノハ大キイ問題、小サイ問題、特定、普通、一般ノ需用ト云フコトガ總テ含マツテ居ッテ、是ハ一、二、三ニ分ケル必要ハナイデヤナイカト私ハ思フ、文字ノ上ノ解釋カラ行クト——文字以外ノ解釋ヲ勝手ニスルト云フコトハ別デアリマスガ、文字ノ上ノ解釋ハ「一般ノ需用」ト云フモノハ電力ヲ需用スル總テノモノヲ含ンデ居ッテ特定モ普通モナイ、一般ノ需用ト云フモノト電車ニ供給スル電力ト分ケタリ、或ハ卸屋ニ行ク電力事業ト分ケタリスル、何故ソレヲ分ケラレルカ、一般ノ需用ト云フノデアレバ、總テノモノ

ヲ「カバー」シテ居ルノデナイカ、總テノモノヲ含ンデ居ナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ思フ

○富安政府委員 御答ヲ申上ゲマス、問題トナリマシタ點ハ實質ノ方面ト、又言葉ノ上ノ形式ノ方面ノ二ツニナルト思フノデアリマスガ、實質ノ方面デアリマスナラバ此一、二、三ト分ケマシタノハ、分ケマシタ各項目ノモノガ法律ノ適用ノ上ニ於キマシテ、ソレゾレ特種ノ扱ヒヲスベキ意義ヲ持ッテ居ルノデ、分ケル必要ヲ感ジテ分ケテ居ルノデアリマス、然ラバ言葉ガ「一般ノ需用」ト云フノデ耳觸リニ於テ特定、不特定ナドヲ含ンデ居ルヤウニ讀マレ易イ缺點ガアリハシナイカト云フコトデアリマスナラバ、是ハ私共ハ寧ロ反對ニモ考ヘラレルト思フノデアリマス、第三號ノヤウナ法律ガ既ニ一ツノ項目トシテ獨立シテ居リマス以上ハ、ソレニ對立シテ「一般ノ需用」ト云ツタ以上ハ、第三ノヤウナモノヲ含マナイモノガ一般ノ需用トシテ第一ニ於テ觀念サナルト思フノデアリマス、「一般ノ需用」ト云フコトヲ不特定ナルモノト一トニ解釋シマシタ其意味ハ、他ノ言葉ヲ以テ申シマスレバ、供給區域ガ與ヘラレテ居ルト云フコトガ當然觀念サレタ意味ノ言葉デアリマシテ、其點ニ付キ

マシテハ私共ハ多少因ハレテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、一般の需用ト云フ言葉ニ依ッテ直チニ浮ビマス私共ノ觀念トシテハ、供給區域ト云フモノヲ與ヘラレテ其區域内ニ於ケル不特定、ソレガ一般ト云フ言葉ニ最モ能ク當嵌マル、ソレニ對立シテ特定ト云フ言葉ガ直グニ頭ノ中ニ這入ッテ來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルト致シマシテモ、必ズシモ仰セノヤウニ適當デナイト云フ風ニハ私共ノ頭ニハ映ッテ來ナイノデアリマス

○清瀬委員 御話ノヤウニ或ハ一號、二號、三號ノ營業ノ種額ガ多少違フト云フ意味ニ於テ之ヲ別々ニスル必要ガアルト云フコトハ、或ハ其必要ガアルカモ知レヌト思フ、ソレハアナタノ説ニ異議ヲ言フ譯デアリマセヌケレドモ、併ナガラ「一般ノ需用」ト云フ文字ガ、アナタ方ノ觀念ハ今マデ仕事ヲオヤリニナツテ居ルカラサウ云フ風ニ出テシマフカモ知レナイケレドモ、吾々素人ガ之ヲ見テ、一般ノ需用ニ應ズルト云フコトハ、一般ニ供給區域ヲ許サレテ居ル事業、斯ウ云フ風ニ見ルト云フ話デアルケレドモ、此文字ノ上カラ見マシテ、ドウシテサウ云フコトが見エマス、ドウシテモハ見ラレヌ、唯一般ノ需用ニ應ジテ供給區域ニ電氣ヲ供給スルト云フ事業デアレバ、供給區域ヲ許可サレテ居ルコトハ勿論デアルケ

レドモ、特定ノ供給區域ヲ受ケテ居ル人デモ、一般ノ需用ニ應ジテ電力ヲ供給スル人デハナイカト思フ、之ヲモウ少シ文句ヲ分リ易クシタ方ガ宜シクハナイカ、一般ノ需用ト云フコトデアレバ、之ヲ以テ小賣デアルトカ、小口ノ利用デアルト云フ解釋ニドウシテモ取レナイ、大キイ解釋モ小イ解釋モ總テノモノヲ含マナケレバナラヌモノデナイカト云フ疑ヲ私ハ持ツモノデアル、モウ少シ私モ考ヘテ見マセウガ、アナタニモ御考置ヲ願ヒタイト思ヒマス、第二條ニ「水路、貯水池、器具、機械、電線路其ノ他ノ工作物ニシテ電氣事業ノ用ニ供スルモノ」ト云フコトニナツテ居リマスガ、「其ノ他」ト云フコレハ大凡ドウ云フコトヲ指サレルノデアリマスカ、ドウ云フコトヲ豫定サレテ居ルノデアリマスカ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、斯様ニ例示的ニ事柄ヲ舉ゲテ參リマシタ場合ニハ、其終ニ持ッテ行キマシテ、遺漏ノモノガアルトイケナイカラ、ソレニ備ヘルガ爲ニ「其ノ他」ノ工作物」ト云フヤウニ概括的ニヤルノガ普通ノ形ト存ジマシテ、此處ニモ其意味ニ於テ舉ゲタノデアリマス、併ナガラ左様ナ具體ニ舉ゲラレナイモノデアルカラ書イテアルノカト申シマスレバ、必ズシモサウ云フ譯デハアリマセヌノデ、一例

ヲ申シマスレバ、茲ニ貯水池ハ舉ッテ居ルノデアリマスケレドモ、併シ調整池ガ舉ッテ居ナイトシマス、サウ云フコトハ直グニ「其ノ他」ト云フ言葉ガ無ケレバ漏レルコトニナル、ソレデ斯ウ云フ備ヘヲ致シテ置ク必要ガアルノデアリマス、又保安通信ノ設備ノ如キモ私共ノ方ハ「其ノ他」ノ工作物」ト云フコトニ勘定ヲシテ、第一項ノ如キモノヲ書イテ置イタ次第デアリマス

○清瀬委員 後ニ戻リマシテ第一條ノ第三號デアリマス、此解釋ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ「第一號又ハ前號ノ事業ニ電氣ヲ供給スル事業」ト云フコトガアリマス、所ガモウ少シ立入ッテ言ッタナラバ、又其事業ニ電力ヲ供給スル事業ガアルダラウト思フ、例ヘバ自分ノ所デ實際ハヤルノデアルケレドモ、何カノ都合上別ニ會社デ造ッテ、別ノ會社ノ名義デ營業ヲ致シテ居ル、而シテ其電力ハ實際ハ親會社ガ取ッテシマフト云フヤウナ仕組ノモノガ幾ラモアルト思フ、東京電燈ニモアリマセウシ、日電ニモアリマセウ、何處ノ會社ニモアル、例ヘバ日電ノ庄川電力ノ如キハ名前ハ庄川電力トナツテ居ルケレドモ、事實ハ株ノ點カラ行ッテモ、重役ノ點カラ行ッテモ、全ク一身同體ノ會社デアル、所ガ此電力ヲ賣ルノハ直接ニ鐵道會社ニ賣ル譯デモナケレバ又小賣電力會社ニ賣

ル譯デモナイ、卸賣ヲスル會社ニ賣ルノデス只今御話ノヤウニ三ツニ分ケテスルト云フヤウナコトニナレバ此事業ハドウ云フ風ニ御取扱ニナリマスカ、第三號トシテ御取扱ニナルノデアアルカ、或ハ準用スベキ事業トシテ御取扱ニナルノデアアルカ、之ヲ御伺致シタ

○富安政府委員 洵ニ御尤ナ御尋ト存ズルノデアリマシテ、此言葉ノミカラ文理的ニ申シマス「第一號又ハ前號ノ事業ニ電氣ヲ供給スル事業」ト云フノデアルカラ、第一號ノ電氣ヲ供給スル事業ニ電氣ヲ供給スル事業ト云フモノガ這入ッテ居ナイ形ニナツテ居リマス、併ナガラ私共ハ左様ニ細カク書キマセヌデシタ意味ハ、只今申シマシタヤウニ第二次以下ニ於キマシテ電氣ヲ供給スル事業デアリマシテモ、其電氣ガ第一次のニ一號又ハ前號ノ事業ニ電氣ヲ供給スル事業ノ中ニ流レ込デ來テ居ル限リハ、其法律上ノ取扱ヲ別ニスベキ理由ハナイノデ此中ニ當然含マレルモノダト云フ觀念ヲ以チマシテ、

○富安政府委員 大體ノ趣旨ニ於キマシテ仰シャッタ通りノコトニナルト思ヒマス、唯併シ法ノ實際ノ適用ト云フコトニナリマス、問題トナリマシタヤウナ會社ガ、他ノ會社ニ電氣ヲ實際流レ込マシテ居ル、其程度範圍ニ於キマシテ、其關係ノ厚薄ニ依リマシテ、ソ

ウ云フ意味ノモノヲ斯様ナ言葉デ斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ用ヒテモ宜カラウト云フヤウナコトデ御賛成ヲ得マシテ、斯様ニ決定ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○清瀬委員 サウ致シマス、只今ノ「第一號又ハ前號ノ事業ニ電氣ヲ供給スル事業」ニ又電氣ヲ供給スル事業ハ、第三號ノ事業ト同様ニ御取扱ヲ爲スト解釋シテ宜シウゴザイマス

○富安政府委員 左様デゴザイマス

○森委員 關聯シテ伺ヒマスガ、只今ノ御話ニ依リマス、電氣工業ヲ營ム會社ガ一部分ノ電力ヲ第一號、第二號等ニ電氣ヲ供給スル場合ニ於テハヤハリ此適用ヲ受ケルコトニナリマスガ、サウ解釋シテ差支アリマセヌカ、實例ヲ申上ゲマスレバ「カーバイト」ヲ營ム會社、或ハ石灰トカ又電氣銅ヲ營ム會社、

又サウ云フ仕事、其仕事ガ地方ノ電燈會社ニ電氣ヲ供給スル斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ此事業ニ適用サレルモノデアルヤ否ヤ、伺ヒタイト思ヒマス

○富安政府委員 大體ノ趣旨ニ於キマシテ仰シャッタ通りノコトニナルト思ヒマス、唯併シ法ノ實際ノ適用ト云フコトニナリマス、問題トナリマシタヤウナ會社ガ、他ノ會社ニ電氣ヲ實際流レ込マシテ居ル、其程度範圍ニ於キマシテ、其關係ノ厚薄ニ依リマシテ、ソ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、斯様ニ例示的ニ事柄ヲ舉ゲテ參リマシタ場合ニハ、其終ニ持ッテ行キマシテ、遺漏ノモノガアルトイケナイカラ、ソレニ備ヘルガ爲ニ「其ノ他」ノ工作物」ト云フヤウニ概括的ニヤルノガ普通ノ形ト存ジマシテ、此處ニモ其意味ニ於テ舉ゲタノデアリマス、併ナガラ左様ナ具體ニ舉ゲラレナイモノデアルカラ書イテアルノカト申シマスレバ、必ズシモサウ云フ譯デハアリマセヌノデ、一例

ヲ申シマスレバ、茲ニ貯水池ハ舉ッテ居ルノデアリマスケレドモ、併シ調整池ガ舉ッテ居ナイトシマス、サウ云フコトハ直グニ「其ノ他」ト云フ言葉ガ無ケレバ漏レルコトニナル、ソレデ斯ウ云フ備ヘヲ致シテ置ク必要ガアルノデアリマス、又保安通信ノ設備ノ如キモ私共ノ方ハ「其ノ他」ノ工作物」ト云フコトニ勘定ヲシテ、第一項ノ如キモノヲ書イテ置イタ次第デアリマス

○清瀬委員 後ニ戻リマシテ第一條ノ第三號デアリマス、此解釋ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ「第一號又ハ前號ノ事業ニ電氣ヲ供給スル事業」ト云フコトガアリマス、所ガモウ少シ立入ッテ言ッタナラバ、又其事業ニ電力ヲ供給スル事業ガアルダラウト思フ、例ヘバ自分ノ所デ實際ハヤルノデアルケレドモ、何カノ都合上別ニ會社デ造ッテ、別ノ會社ノ名義デ營業ヲ致シテ居ル、而シテ其電力ハ實際ハ親會社ガ取ッテシマフト云フヤウナ仕組ノモノガ幾ラモアルト思フ、東京電燈ニモアリマセウシ、日電ニモアリマセウ、何處ノ會社ニモアル、例ヘバ日電ノ庄川電力ノ如キハ名前ハ庄川電力トナツテ居ルケレドモ、事實ハ株ノ點カラ行ッテモ、重役ノ點カラ行ッテモ、全ク一身同體ノ會社デアル、所ガ此電力ヲ賣ルノハ直接ニ鐵道會社ニ賣ル譯デモナケレバ又小賣電力會社ニ賣

ル譯デモナイ、卸賣ヲスル會社ニ賣ルノデス只今御話ノヤウニ三ツニ分ケテスルト云フヤウナコトニナレバ此事業ハドウ云フ風ニ御取扱ニナリマスカ、第三號トシテ御取扱ニナルノデアアルカ、或ハ準用スベキ事業トシテ御取扱ニナルノデアアルカ、之ヲ御伺致シタ

○富安政府委員 洵ニ御尤ナ御尋ト存ズルノデアリマシテ、此言葉ノミカラ文理的ニ申シマス「第一號又ハ前號ノ事業ニ電氣ヲ供給スル事業」ト云フノデアルカラ、第一號ノ電氣ヲ供給スル事業ニ電氣ヲ供給スル事業ト云フモノガ這入ッテ居ナイ形ニナツテ居リマス、併ナガラ私共ハ左様ニ細カク書キマセヌデシタ意味ハ、只今申シマシタヤウニ第二次以下ニ於キマシテ電氣ヲ供給スル事業デアリマシテモ、其電氣ガ第一次のニ一號又ハ前號ノ事業ニ電氣ヲ供給スル事業ノ中ニ流レ込デ來テ居ル限リハ、其法律上ノ取扱ヲ別ニスベキ理由ハナイノデ此中ニ當然含マレルモノダト云フ觀念ヲ以チマシテ、

○富安政府委員 大體ノ趣旨ニ於キマシテ仰シャッタ通りノコトニナルト思ヒマス、唯併シ法ノ實際ノ適用ト云フコトニナリマス、問題トナリマシタヤウナ會社ガ、他ノ會社ニ電氣ヲ實際流レ込マシテ居ル、其程度範圍ニ於キマシテ、其關係ノ厚薄ニ依リマシテ、ソ

ウ云フ意味ノモノヲ斯様ナ言葉デ斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ用ヒテモ宜カラウト云フヤウナコトデ御賛成ヲ得マシテ、斯様ニ決定ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○清瀬委員 サウ致シマス、只今ノ「第一號又ハ前號ノ事業ニ電氣ヲ供給スル事業」ニ又電氣ヲ供給スル事業ハ、第三號ノ事業ト同様ニ御取扱ヲ爲スト解釋シテ宜シウゴザイマス

○富安政府委員 左様デゴザイマス

○森委員 關聯シテ伺ヒマスガ、只今ノ御話ニ依リマス、電氣工業ヲ營ム會社ガ一部分ノ電力ヲ第一號、第二號等ニ電氣ヲ供給スル場合ニ於テハヤハリ此適用ヲ受ケルコトニナリマスガ、サウ解釋シテ差支アリマセヌカ、實例ヲ申上ゲマスレバ「カーバイト」ヲ營ム會社、或ハ石灰トカ又電氣銅ヲ營ム會社、

又サウ云フ仕事、其仕事ガ地方ノ電燈會社ニ電氣ヲ供給スル斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ此事業ニ適用サレルモノデアルヤ否ヤ、伺ヒタイト思ヒマス

○富安政府委員 大體ノ趣旨ニ於キマシテ仰シャッタ通りノコトニナルト思ヒマス、唯併シ法ノ實際ノ適用ト云フコトニナリマス、問題トナリマシタヤウナ會社ガ、他ノ會社ニ電氣ヲ實際流レ込マシテ居ル、其程度範圍ニ於キマシテ、其關係ノ厚薄ニ依リマシテ、ソ

○富安政府委員 御答申上ゲマス、斯様ニ例示的ニ事柄ヲ舉ゲテ參リマシタ場合ニハ、其終ニ持ッテ行キマシテ、遺漏ノモノガアルトイケナイカラ、ソレニ備ヘルガ爲ニ「其ノ他」ノ工作物」ト云フヤウニ概括的ニヤルノガ普通ノ形ト存ジマシテ、此處ニモ其意味ニ於テ舉ゲタノデアリマス、併ナガラ左様ナ具體ニ舉ゲラレナイモノデアルカラ書イテアルノカト申シマスレバ、必ズシモサウ云フ譯デハアリマセヌノデ、一例

ヲ申シマスレバ、茲ニ貯水池ハ舉ッテ居ルノデアリマスケレドモ、併シ調整池ガ舉ッテ居ナイトシマス、サウ云フコトハ直グニ「其ノ他」ト云フ言葉ガ無ケレバ漏レルコトニナル、ソレデ斯ウ云フ備ヘヲ致シテ置ク必要ガアルノデアリマス、又保安通信ノ設備ノ如キモ私共ノ方ハ「其ノ他」ノ工作物」ト云フコトニ勘定ヲシテ、第一項ノ如キモノヲ書イテ置イタ次第デアリマス

○清瀬委員 後ニ戻リマシテ第一條ノ第三號デアリマス、此解釋ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ「第一號又ハ前號ノ事業ニ電氣ヲ供給スル事業」ト云フコトガアリマス、所ガモウ少シ立入ッテ言ッタナラバ、又其事業ニ電力ヲ供給スル事業ガアルダラウト思フ、例ヘバ自分ノ所デ實際ハヤルノデアルケレドモ、何カノ都合上別ニ會社デ造ッテ、別ノ會社ノ名義デ營業ヲ致シテ居ル、而シテ其電力ハ實際ハ親會社ガ取ッテシマフト云フヤウナ仕組ノモノガ幾ラモアルト思フ、東京電燈ニモアリマセウシ、日電ニモアリマセウ、何處ノ會社ニモアル、例ヘバ日電ノ庄川電力ノ如キハ名前ハ庄川電力トナツテ居ルケレドモ、事實ハ株ノ點カラ行ッテモ、重役ノ點カラ行ッテモ、全ク一身同體ノ會社デアル、所ガ此電力ヲ賣ルノハ直接ニ鐵道會社ニ賣ル譯デモナケレバ又小賣電力會社ニ賣

ル譯デモナイ、卸賣ヲスル會社ニ賣ルノデス只今御話ノヤウニ三ツニ分ケテスルト云フヤウナコトニナレバ此事業ハドウ云フ風ニ御取扱ニナリマスカ、第三號トシテ御取扱ニナルノデアアルカ、或ハ準用スベキ事業トシテ御取扱ニナルノデアアルカ、之ヲ御伺致シタ

程度が自家用デアリ、ドノ程度が第三

所見ヲ伺ヒタリノテアリマス
○富安政府委員 ソレハ一々自家用ノ
施設トシマシテ、又ハ電氣事業施設ト
致シマシテ許認可ノ場合ニ、許認可ノ
内容ニ依リマシテハツキリシテ參ルコ
ト、思フノデアリマス、發電所送電線
ノ關係ガ自家用ノ關係デアルカ、又ハ
電氣事業ノ關係デアルカト云フヤウナ

ト存ジマス

○森委員 認可ノ場合ニ於テ自家用テ
アリマシタモノガ、第一號、第二號ノ供
給ヲスル場合ニ於テ、只今ノ御説明ニ

依ルト認可ノ際ノミガ分界點デアル、
斯ウ云フコトニナリハセヌカト思ヒマ
スガ、其處ハ如何デセウ

○富安政府委員 認可ノ際ノミガト仰
シヤイマス言葉ハ私ニハハッキリ吞込
メマセヌガ、許認可ノ時ニ其關係ガハ

ツキリ致シマシテ、其狀態ハ新ニ更ニ變
更ノ許認可ノアリマス迄續イテ參リマ
ス、許認可ノ際ノミト云フ御尋ハドウ

云フコトデアリマスカ……
森委員 ソレハ認可ヲ受ケル場合ニ
 自家用ニ認可ヲ受ケマシテ、其後財

界ノ狀況其他ニ依リマシテ此第一號、
第二號ノ電氣ヲ供給スル目的ニ變更ヲ

スル場合ガ往々アリマス、今マデノ例ニ依リマシテハ實ニ澤山アルト思ヒマス、其場合ハドウ云フ風ナ手續ヲ執ラレルカト云フコトヲ聽イテ居ルノデアリマス

○富安政府委員 御尋ノヤウナ場合デアリマシタナラバ、此改正案實施ノ後ニ於キマシテハ自家用ノモノガ新ニ電氣事業ノ許可ヲ申請シナケレバナラナイ關係ニナルト御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス

○森委員 サウ致シマスト從來ノヤウナ簡單ナ手續デハナクナルノデアリマスルカ、又其手續ヲ執ル場合ハドウ云フコトニナリマスカ、自家用ト本法案ノ監督取締ノ嚴重ナル適用ハドウ云フ風ナ關係ニナリマスカ

○富安政府委員 御答致シマス、新ニ許可ヲ得ナケレバナラス、其許可ト云フモノハ固有ノ電氣事業ノ許可ト、許可タルニ於テ變リハナイノデアリマスケレドモ、實際上ノ取締ト云フコトニナルト、規則以下ノ定メニ於テ、大體今日ト略似タヤウナ取扱ヲ致サウト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○森委員 サウ致シマス、一部ヲ電氣工業ノ自家用トシテ使用シ、一部ヲ電氣供給ヲ爲ス場合ニ於テ、ドノ程度ガ本法案ノ適用ヲ受クベキ電氣事業者デアリ、又ドノ程度ガ自家用デ済ムノ

デアリマス、或ハハ電氣ノ使用量ニ於テ決定スルノデアルカ、資本其他設備等ノ關係デ決定スルノデアルカ、之ニ付テノ御考ヲ伺ヒタイ

○富安政府委員 御尋ノコトハ個々ノ實際ノ問題ニ付テ具體的ニ申上ゲル外ハナイノデアッテ、一般的ニ御尋ノヤウナコトハ一寸御答申上ゲ難イノデアリマス

○森委員 其點ヲ御尋シテ居ルノデアリマス、電氣使用料ニ依ッテ決定スルノデアルカ、或ハ投下資本ニ依ッテ決マルノデアルカ、何レカ玆ニ定ッタル御意見ガナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ個個ノ問題デナク、概括的ニ、サウ云フヤウナ場合ニ於ケル標準基準ヲ御尋スルノデアリマス

○富安政府委員 要スルニ供給者ノ一號二號ノ事業ニ供給スル關係連絡ガアル限ニ於テハ、電氣事業トシテノ關係ニ立タナケレバナラヌト考ヘマス、御尋ノヤウナ資本關係云々ト云フコトニナルト、是ハ本法ノ建前ガ一部分ノミヲ第一號二號ノ事業ニ供給スルモノデアリマシテモ、ヤハリ電氣事業者トナ

テ、資本關係云々ト云フコトデ、直チニ電氣事業ト自家用トニ分ケテ標準ヲ立テル譯ニハ行カヌト思ヒマス

○森委員 サウ云フコトデナイ、私ノ

御尋シテ居ルノハ、第一條ノ電氣事業者ト資格ガ變ル場合ヲ御尋シテ居ルノデアリマス、自家用電氣事業者ガ第一條ニ依ル所ノ電氣事業者ト資格ガ變ル場合ハ、此電氣事業法ノ適用ヲ受クベキ基準ガ何處ニアルカ、ソレハ自家用ト、又第一號、二號ノ供給スル場合ニ於キマシテ、電氣ノ量ガ、例ヘバ自家用ニ使用スルヨリモ、一般供給ニ販賣ス

ル方ガ多イ場合ニ於テハ、會社ノ全體ガ電氣事業ノ適用ヲ受ケルモノデアルカドウカ、其場合ノ基準ハ電氣ノ量ニアラズシテ、資本、設備其他ニ依ルモノデアルカ、之ヲ御尋スルノデアリマス

○富安政府委員 電氣ノ量ニ依ルトカ、資本關係ニ依ルト云フコトデアリマスルヨリモ、先程申上ゲマシタヤウニ第一號、第二號ノ事業者ニ電氣ヲ流レ込マセル、其關係ノ繫ッテ居ル範圍程度ニ於テ、ソレダケノモノガ電氣業者ニナルノデアリマス、斯ウ御考ヘヲ願ッ

タラ宜シクナイカト思ヒマス

○森委員 サウ致シマス、第一條ノ解釋ハ之ヲ今ノ御説明ヲ裏カラ考ヘテ見マスレバ、電氣事業者ハ電氣工業ヲ營ムヲ得ズ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、此點ヲ御尋致シマス、詰リ自家用電氣業者デ營業ノ目的ヲ變

更致シマシテ、事實問題ト致シマシテ

工業界ノ不振ノ結果、其營ム所ノ仕事ガ採算上經營ハ出來ナイ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ、目的ノ變更ヲシテ全部ヲ廢メテ一般電氣事業者ニ其電氣ヲ供給スレバ、本法第一條ノ目的ニ副フ所ノ電氣事業者トナリ得ルコトハ、其解釋デ宜カラウト思ヒマス、若シモソレヲ一部ハ電氣工業ヲ繼續シ、一部ヲ一般供給ニ販賣スル場合ニ於テハ、ア

ナタノ御説明ニ依レバ、ソレハ販賣用ノ部分ノミヲ本法ニ適用スルト云フコトデアリマシテ、他ノ部分ハ適用シナイ、自家用デ取締ル、斯ウ云フコトデアリマス、ソレガ若シモ一部分ガ殘ッ

タ場合ニ於テハ、本法第一條ノ目的ニハ副ヒ得ナイ、斯ウ云フコトニ考ヘテ宜シイト思ヒマス、其解釋ガ違フノデアリマスガ、其點カラ先ヅ第一ニ御尋申上ゲマス

○富安政府委員 殘ッタ部分ニ付キマシテハ、自家用ノ取締ノ程度ヲ以テ適當ダト考ヘテサウスベキモノト思ッテ居リマス、供給ノ方ニ關係アル事業ニ適用シタ部分ニ關シマシテハ、流入セシメルヤウナ設備機械其他關係スル範圍ニ於キマシテハ、固有ノ電氣事業ト同ジャウナ法律ヲ取扱フスベキモノダ

ト斯ウ考ヘテ居リマス、斯様ニ二ツニ分レルノデアリマス、サウシテ分レル結果適用ハ又自ラ別ニナルト云フノ

ハ、當然サウナラナケレバナラヌモノト考ヘマス

○森委員 サウデアアルナラバ私が申上ゲマシタ第一條ノ一般ノ需用ニ應ジ、

電氣ヲ供給スル事業會社ハ、ドノ部分マデガ電氣工業ヲ營ミ得ルカト云フコトニナルト、是ハ營ミ得ナイト云フ解釋デナイカ、例ヘバ只今ノ御説ニ依レ

バ電氣工業ヲ營ム會社ガ一般供給ヲシタ場合ニ於テハ、其一般ニ供給スル部分ノミハ取締ヲ受ケルノダ、サウデアアルナラバ例ヘバ七割ナリハ供給シテシマヒマス、アト二割ハ殘ッテ居

リマス、其場合ニ於テ社債ノ發行トカ、増資トカ云フヤウナ場合ニ於テハ本法ノ適用範圍ハドウ云フ風ニ御解釋ニナルカ

○富安政府委員 私ノ申上ゲマシタノハ設備ガ發電關係、送電關係ニ於テ分レ得ル場合ノミ想像致シマシテ御答申上ゲマシタ爲ニ、御満足ヲ得ナカッタト存ジマスガ、一ツノ設備ヲ以チマシテ

百出ス内ノ八割ダケヲ一號、二號ノ電氣ニ流用セシメテ、二割ダケハ自家用ニ殘ス、其場合全體ノ事業トシテ電氣事業のノ特權ヲ享有シ得ナイカト云フコトデアリマスレバ、ソレハ設備ノ分レテナイ場合デアリマスカラ、電氣事業トシテ本法ノ適用ヲ受ケルコトニナル關係ニ立ツノデアリマス

○森委員 然ラバ最前御尋シテ居リマス其基準ハ何處ニアルカト云フコトニ立戻ッテ御明答ヲ煩サナケレバナリマセヌ

○富安政府委員 結局設備ノ繋リガハキリト切離シ得ル場合、切離シ得ナイ場合ト云フコトニナルノデハナイカト……

○森委員 勿論得ナイ場合ニ於テ……

○富安政府委員 得ナイ場合ニ於テハ全體ガ電氣事業法ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナルノデアリマス

○森委員 然ラバ全體ガ電氣事業法ノ適用ヲ受ケルト云フコトハ、ドノ部分ガ電氣ノ量ニ於テ決マルカ、設備其他増加資本ガ決マルカ、其處ノ基準ヲ御尋シテ居ルノデアリマス

○富安政府委員 量トカ資本トカ云フコトノ問題ニナリマスレバ、荷モ一號、二號ノ電氣事業ニ供給スル以上ハ、總テ量トカ云フモノニハ拘ラズ、電氣事業法ノ適用ヲ受ケル關係ニ立ツ次第デアリマス

○森委員 其御答辯ハ今マデノ御説明ト矛盾ガ起ルノデアリマス、ト言フノハ此電氣事業法ニ依リマスレバ、非常ニ嚴重ナ取締監督ガアル、同時ニ又一方ニ於テハ其特權トシテ資本増加ノ場合ニ於テ、又社債發行ノ場合ニ於テサウ云フヤウナモノモアルノデアリマス

○富安政府委員 然ラバ全體ガ電氣事業法ノ適用ヲ受ケルト云フコトハ、ドノ部分ガ電氣ノ量ニ於テ決マルカ、設備其他増加資本ガ決マルカ、其處ノ基準ヲ御尋シテ居ルノデアリマス

○森委員 然ラバ全體ガ電氣事業法ノ適用ヲ受ケルト云フコトハ、ドノ部分ガ電氣ノ量ニ於テ決マルカ、設備其他増加資本ガ決マルカ、其處ノ基準ヲ御尋シテ居ルノデアリマス

○清瀬委員 斯ウ云フコトニ御尋シタラドウカト思ヒマス、自家用ノ爲ニ發電致シテ居ル、而シテ其十分ノ一デモ第一號、若クハ第二號ノ電力事業ニ依ッテ供給スルト云フ場合ニハ、ヤハリ此法ノ適用ヲ受ケルト云フコトニ相成ルノデアリマス

○富安政府委員 サウ云フコトデアリマス

○清瀬委員 ソレナラバ若シ僅ニ十分ノ一デモ電力ヲ一號二號ノ事業ニ供給シテ居ルト云フヤウナ場合ハ、總テヤハリ帳簿ナドモ一切ヤハリ御検査ニテ居ル帳簿ナドモ一切ヤハリ御検査ニ相成ル、此電氣事業法ニ依ルト會計ナドモ検査ヲ爲サル、帳簿モ御調べニナル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、

十分ノ一デモ、百分ノ一デモ、荷モ一號二號ノ事業ノ電力ヲ供給シテ居ル以上ハ、ヤハリ其検査ヲ受ケテモ仕方ガナイ、總テノ帳簿ノ検査ヲ受ケテモ仕方ガナイノデアアル、斯ウ云フ風ニ相成ルノデアリマス

○富安政府委員 ソレハ本法ノ適用ト云フコト、本法ヲ適用ハスルケレドモ、其規則以下ニ於ケル實際ノ運用ニ於テ適當ニ制度ヲ立ッテ行クカドウカト云フ別ノ問題ニナリハセヌカト思フノデアリマス、本法ノ適用ハアルカナ

イカト云フコトニナレバ、適用ハ致シマスガ、各法條ヲ實際運用スルニ於テ規則以下ニ於テ實際ニ其モノニ適當ナ建前ヲ考ヘルト云フコトハ無論シナク

チヤナラヌト考ヘテ居リマス

○清瀬委員 適用ヲ受ケル以上ハ、帳簿ヲ調べラレテモ、殊ニ直接電力ノ方ニ關係シナイ他ノ事業ノコトヲ調べラレテモ仕方ガナイ、ソレヲ調べナケレバ調べナイデモ濟ムカモ知レマセヌ

○富安政府委員 成程法文ノ文意ノミカラ讀ミマスレバ、或ハ調べラレテモ仕方ガナイト云フコトニナルト申サネ

バナラヌカモ存ジマセヌガ、ソレハ法文ノ字句ヲ餘リ機械的ニ讀ミ過ギル結果デアリマシテ、左様ナコトヲ申シマヌレバ他ノ法條ニ於キマシテモ同ジヤウナ御議論ガ隨分起ツテ來ハシナイカト思ヒマス、單リ會計ノ規則ヲ命令ヲ以テ之ヲ定ムトカ云フヤウナコトノアル此二十二條ノ實際ノ運用ニ關スル問題ノミデハナイト存ジマス、左様ナコトヲスル考ハ少シモ持ツテ居ナイト云フコトデ御諒解ヲ御願致シタウ存ジマス

○清瀬委員 ソレハ只今ノ電氣當局者ハ左様ナ御考デアルカモ知レヌ、併シ當局ガ選ツテ法文ノ上デ調ベルナラバ調ベルレノデアリマス、斯ウ云フコトニナルト調ベル時ニ調ベルレハ困

ル、アナタニ調ベル權利ハナイト言フコトハ出來ナイ、アナタハサウ云フ御解釋デアルカモ知レマセヌ、併シ電氣局長ハ迭ル、其選ツタ電氣局長ガ來テ、ソレハ吾々ノ法制上ノ權利デ調ベルノデアルカラ、總テノ帳簿ヲ御出シナサイト言ハレタ時ニ、例ヘバ一萬馬力ノ電力ヲ起シテ居ル、其中デ九千九百馬力マデハ家用ニ使ツテ居ル、僅ニ百馬力ヲ他ニ第一號第二號ノ事業トシテ供給スルト云フヤウナ場合ニ、ソレデモ總テノ九千九百馬力ヲ使ツテ居ル其帳簿マデモ調ベルレモ仕方ガナイ、サ

ウ云フコトハ常識上シナイ、法ノ適用ハドウデモ實際ハシナイノデアルカラ心配ナイト仰シヤルガ、心配ハナイト云フノハアナタガ電氣局長デアル間ハ心配ハナイ、電氣局長ガ選ツタ時ハサレテモ仕方ガナイ、シナイト云フノハアナタノ特別ノ惠ミカモ知ラヌガ、法ノ上デハ、之ヲ防グコトハ出來ナイ、サウスレバ會計ノ一切ヲ曝ケ出シテ、實際ハ九十九「パーセント」ハ家用デ、電力供給事業ニ關係ノナイ帳簿マデモ調ベルレコトニナツテハ、營業上非常ナ支障ガ起ル、先ヅ此點ガ餘程重大ナ事デアルト思フ、法ノ上ニ於テハドウシテモサウ云フ風ナ解釋ニナルト思ヒマスガ、如何デスカ

○富安政府委員 御尋ノ御趣旨ガ他ノ事業ノ會計、即チ實際問題ハ兼營事業ガラウト思ヒマスケレドモ、兼營事業ノコトニ付キマシテ、左様ナ事ヲスルコトニナツテ居ナイコトハ、法條ノ建前トシテモサウナツテ居ルノデアツテ、電氣事業ノ會計ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルト云フノデアリマスカラ、若シ兼營事業ニ依ル會計マデ及ブカト云フコトニナレバ、ソレハ法條ト致シテハ及ンデ居ナイノデアリマス

○清瀬委員 兼營ト云フ意味ハドウ云フ意味カ分リマセヌガ、要スルニ自分ノ所デ電力ヲ出シテ居ル、其電力ノ九十九「パーセント」マデハ自分デ使フガ、一「パーセント」ダケ他ニ賣ルヤウナ場合ニモヤハリ此電氣事業法ノ適用ヲ受ケナケレバナラヌ、此適用ヲ受ケル以上ハ、帳簿ヲ持ツテ來イ、帳簿ヲ調ベルト言ハレ、バ、帳簿ヲ調ベルレナケレバナラナイ、即チ會計ノ取締ヲ受ケルト云フコトニ相成リマスカラ、會計ノ取締ヲナサルニハ帳簿ヲ調ベルト云フコトデアルナラバ、唯百分ノ一ダケノ區分ハ付カナイデハアリマセヌカ、百分ノ一ダケノ電力ヲ供給シテ居ルカラ、百分ノ一ノ帳簿ヲ見セレバ宜イト云フ譯ニハ行カヌ、全部ヲ見セナケレバ會計ハ分ラヌト云フコトニナル、サウスルト電氣事業ニハ少シモ關係ノナイ事業ニ付テモ、一切ノ帳簿ヲ見セナケレバナラヌコトニナルノデアアリマセヌカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○富安政府委員 電氣事業ニ關スルモノト電氣事業ニ關係ノナイ他ノ部分ノ仕事ニ關スルモノトハ經理ハ當然別ニシマシテ、電氣事業ニ關スル部分ノミニ付テ、必要ナ監督ヲスルノデアリマスカラ、他ノ電氣事業デナイ部分ニ付キマシテ、帳簿ヲ検査スルトカ會計ヲ検査スルトカ云フコトハ致サナイシ、又サウスルトコトニモナツテ居ナイト云フコトハ、本案ノ第二十三條ニモ「電氣事業ノ會計ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニナツテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○清瀬委員 他ノ事業ハ検査スル必要ハナイ、電氣事業ニ關スルモノダケ検査スレバ宜イト言ハレマスカ、電氣事業ノ如キ大キナ「プラン」ヲ以テヤリマヌモノハ、此一部分ガ家用デアリ、此一部分ガ販賣用デアルト云フ區別ハ付カナイ、假ニ一萬馬力ノ電力ヲ出シテ居ルモノガ、其中ノ九十八九「パーセント」マデハ家用デアルガ、一二「パーセント」ハ餘ルカラ、ソレヲ他ニ賣ル場合ガアルカモ知レナイ、サウスルト是ダケハ電氣事業デ取締ヲ受ケルカラ、是ダケノ帳簿ヲ見セレバ宜シイ、其他ノモノハ見セナクテモ宜シイト云ツテモ、發電ニ關スルコトハ別ニシテ居ルトシテモ、其中ノ家用ノ分ガ別ニナツテ居ナイ以上ハ、ヤハリ其發電費、發電所維持費ト云フヤウナモノヲ調ベルニハ、全體ノ帳簿ヲ見ナケレバ分ラヌト云フコトニナル、アナタ方ノ方デモ一部分ダケデハ分ラヌト云フコトニナル、サウスルト全體ノ帳簿ニ涉ツテ見ナケレバナラヌト云フコトニナルト、其處ニ非常ニ煩シイ事ガ起ル、ソレハ當局者ノ手心ニ依ツテサウ云フコトヲシナクテ濟ムト言ハレルカモ知レナイガ、調査サレテモ仕方ガナイト云フコ

トニナル、營業者トシテハ非常ナ脅威ヲ感ズル、ヤラレルコトガ當然デ、シナイコトガ特惠ノ意味ニナツテ來ル、サウスルト營業者ノ方ハ非常ナ危險ヲ感ジ、不安ヲ感ズルト云フコトニナリマス

○富安政府委員

御配リ致シマシタ電氣事業法施行ニ伴フ施行令其他ニ關スル案ト云フモノ、中ニモ、會計規定ニ關シマス大體ノ構成ノ要目ガ舉ツテ居リマス、其終リカラ二頁目ヲ御覽下サイマス、電氣事業會計規程ガアル、其一、二、三ノ一番終リノ(一)ノ所ニ關聯費ノ分割等ト云フ一ツノ項目ニ舉ツテ居リマス、必要ナル部分ヲ超エテ他ノ部分ニ關スル帳簿マデ出サナケレバナラヌコトニナルト云フコトハ心配シナイデモ宜イヤウニ會計ノ規程ヲ作ルコトニナツテ居ル、此關聯費ノ分割ト云フ、其規定ハ當ニソレヲ意味シテ居ルノデアリマシテ御尋ノヤウナ御心配ノ點ヲナカラシムルト云フ爲ニ會計規程ニ於テ十分考慮スルコトハ當然ノ事デアリマシテ、兩事業ノ間ノ帳簿其他ノ關係ハ經費ヲ別ニ致シマシテ其必要アル部分ニ付テノミ帳簿ヲ調ベレバ宜シイ、又報告ヲ出セバ宜シイ、ト云フ建前ニ致シマスノガ、此法律ヲ動カシテ行ク上ノ當然ノ話ダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○清瀬委員

法令ヲ施行規則ニ依ッテ

左右スルコトハ出來ル筈ハナイト思ヒマス、ソレハ唯手續上ノ事ヲキメルダケデ、法令ノ精神ハ動カスコトハ出來ナイモノト思ヒマス、ソコデ此法令ニ依リマス、電氣事業ニ關スル部分ダケ検査スレバ宜シイガ、其他ノ事ハ検査スルニ必要ガナイカラシナイノダ、斯ウ云フ御話ノヤウデアリマスガ、其區分ハドウシテ付ケルカ、發電量ノ事ニ致シマシテモ、是ダケハ自家用デ検査ヲ受ケナクテモ濟ムガ、是カラ先ハ販賣用デアルカラ電氣事業ノ検査ヲ受ケナケレバナラヌ、斯ウ云フ區分ハドウシテ付ケルカ、發電所費ニ致シマシテモ或ハ發電所ノ維持費ニ致シマシテモ、ドウシテモ同ジ帳簿ニ載セナケレバナラヌ、是ハ二通りモ三通リニモ分ケラレル筈ハナイ、自家用ノ費用ハ是ダケデ、販賣用ノ費用ハ是ダケダト分ケラレル筈ハナイ、同ジ帳簿ノ中ニ於テ、一部ハ自家用トナリ、一部ハ販賣用トナル、サウスルト検査スル時ニハ全體ノ検査ヲシナケレバ是分ル筈ハナイ、ドウシテモ全部ノ検査ト云フコトニナラザルヲ得ナイ、殊ニアナタノヤウナ分ッタ人ナラバ宜イカ知レヌガ、意地惡ク出テ調べルト云フコトモ爲シ得ルノデアリマス、之ヲナサヌトモ限ラヌノデアリマス、其時ハ困ルデヤナ

イカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス、常識上多クハサウ云フ事ハシナイト思ヒマス、又シナイコトヲ望ムノデアリマスガ、シ得ルヤウナ事ヲ規定デシテ置クト云フコトハ、營業者ニ非常ナ不安ヲ與ヘルデヤナイカ、又一面カラ云フナラバサウ云フコトヲシナケレバ監督不行届ト云フヤウナ誹ヲ受ケルカモ知レヌ、他ノ電力會社ハ非常ニ嚴重ナ帳簿ノ検査ヲスルガ、兼營シテ居ル爲ニソレヲシナイト云フコトナラバ、洵ニ職務怠慢デ、背任罪ガ起ルカモ知レマセヌ、九十九「バーセント」ヲ自家用トシテ使ッテ居リ、其他ノ事業ニ迄供給シテ居ルノデアルカラ、大キナ仕事ヲシテ居ルト見ナケレバナラヌ、其大キナ仕事ノ一切ノ帳簿ヲ持ッテ來イ、サウシテ調べラレル、一體實業ニハ申ス迄モナク色々ナ祕密ガアル、ソレヲ一會計規程ニ依ッテ帳簿ヲ持ッテ行ッテ調べラレルト云フコトニナツテハ隨分迷惑デアアル、隨分不安ヲ感ジ、危險ヲ感ズル、斯ウ云フ風ニ相成リハシナイカト思ヒマス、ドウシテソレヲ區分サレルノデアリマスガ、尙ホ色々ナ聽キタイ事ガアリマスガ、御答ガ若シ急ニ出來ナカッタナラバ、是ハ本日ハ此程度デ散會ヲ願ヒタイト思ヒマス

實ハ是ハ専門家デナイト、私共ニハ能ク頭ニ徹底シナイヤウニ思フノデアリマスガ、私ハ自分ノ常識判斷トシテ一言申上ゲテ見タイト思フ、本案ノ第二十一條ニハ、「第一條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ他ノ事業ヲ營ムコトヲ得ズ」トアリマスカラ、只今御尋ノ自家用ガ九十九「バーセント」、殘ッテ居ル一「バーセント」ダケヲ一般ニ供給スル、サウ云フ時ニ帳簿ノ一部ダケハ調べラレナイ、ヤハリ全體ニ互ラナケレバ帳簿ノ區別ガ付カヌノデハナイカ、ソレハ洵ニ御尤ト思ヒマス、併ナガラ主務大臣ノ認可ヲ得ルニ非ザレバ他ノ事業云々トアリマスカラ、其時ニデス、是ハ相當ニ許可スル時ニ條項ヲ附シマシテ、會計検査ノ時ニ、斯ウ云フ方法ニスルゾト云フコトハ雙方デ明瞭ニ諒解ガ出來ヤシナイカ、唯私法律家デアリマセヌカラ常識デ考ヘタコトデアリマス、其點ハドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

○清瀬委員

ソレハ新ニ是カラサウ云フ事業ヲ始メヨウト云フ時ニハ成程御説ノ通りニ認可ニ相成ル時ニ押ヘラレマスガ、現在ニ經營シテ居ル人モアルト思フ、現在ニ經營シテ居ルヤウナモノハ、ヤハリ直チニ此法律ニ依ッテ許サレタモノト見テ行ク外ハナイト思フ、ソ

レヨリ外ニ仕方ガナイ、サウ云フ時ニマス、明日モ引續イテ開キタイト思ヒ
ドウスルカ、アルカナイカ知ラヌケレ
ドモ(「アル」ト呼フ者アリ)アルト
思フ、必ズアルト思フ、其時ニドウスル
カト云フコトヲ御尋シタノデアリマ
ス、是カラヤルモノハ御話ノ通りニ、主
務大臣ガ許可ナサルノデアルカラ、其
時ニ相當ニ押ヘラレルガ、現在兼營シ
テ居ルモノハ、此法律ガ施行サレル時
ニハヤハリ許可サレタモノトシテ續イ
テ行カナケレバナラヌ、而シテ少シ極
端ナ例ヲ知レナイガ、九十九「バーセ
ント」ハ自家用トシテ使ッテ居ッテ、僅ニ
一「バーセント」シカ他所ヘ賣ッテ居ナ
イト云フ場合デモ、一「バーセント」ダ
カラ帳簿ヲ検査シナイト云フ譯ニ行カ
ナイ、ヤハリ帳簿ヲ検査シナケレバナ
ラヌモノデアルト思フ、検査シナケレ
バナラヌト云フ場合ガ生ズル、其場合
ニ百分ノ一バカリヲ見テ行クト云フ譯
ニ行カナイ、全體ノ營業ヲ見テ行カナ
ケレバナラナイト云フ時ニ、サウ云フ
仕事ヲシテ居ルモノハ非常ナ不安ヲ感
ズルト云フヤウナ不都合ヲ感ズル、斯
ウ云フコトニ相成ルガ、是ハドウ云フ
コトニスルカト云フコトヲ聽イテ居ル
ノデアリマス、併シ今此處デト云フヨ
リハ、能ク御研究下サッテ御答辯ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

午後零時二十四分散會

○河西委員長 本日ハ是ニテ散會致シ